

兵庫県立がんセンターと地域の医療関係者をつなぐ



都道府県がん診療連携拠点病院
兵庫県立がんセンター

かけはし



vol.

69

2019 07

題字：井戸敏三知事



特集

“つらくなく” がんの治療を受ける

- スクリーニング後の対応
- スクリーニングの流れ
- 2018年度のつらさの内容
- スクリーニングの効果

-
- 新任副院長挨拶
 - 新任医師の紹介
 - 超音波検査室に新しく超音波診断装置 Aplio i800が導入されました
 - 地域医療連携室からのご案内
 - 連携診療登録医のご登録について



特集

“つらくなく” がんの治療をうける

緩和ケアセンター

がんセンターに来られる患者さんは、「がんではないか」「治るんだろうか」と不安に思っていたり、痛みがある、食事ができない、眠れないという方も多くおられます。私たちは、そのつらさに対応するためにまずは、初診時に苦痛のスクリーニングを行っています。質問紙を用いて体や心のつらさを教えていただきます。患者さんが抱えているつらさに確実に対応することで、どの患者さんのつらさもそのままにしない、継続した介入につなげる事が出来ています。

スクリーニング後の対応

患者さんが記入した内容に基づき、外来看護師が診察前に面談を行い生活の支障や気がかりを主治医に伝えます。主治医は診察時に患者さんのお困りごとやつらさをわかった上で診察することができます。患者さんの希望や状態により専門チームが対応することもあります。

生活のしやすさに関する質問票（初診用）

	記入者	
	○患者さん	
	○ご家族（お名前： ）	
		（続柄： ）

1) ご最近の症状について、あてはまるものに ○ を入れて下さい

	症状なし	症状があるが現在の状態に満足している	それほどひどくないが方法があるなら考えてほしい	我慢できないことがしばしばあり対応してほしい	我慢できない症状がずっと続いている
痛み	0	1	2	3	4
だるさ	0	1	2	3	4
息苦しさ	0	1	2	3	4
咳・痰	0	1	2	3	4
吐き気	0	1	2	3	4
食欲不振	0	1	2	3	4
便秘	0	1	2	3	4
下痢	0	1	2	3	4
眠気	0	1	2	3	4
不眠	0	1	2	3	4
不安	0	1	2	3	4
気持ちのつらさ	0	1	2	3	4
()	0	1	2	3	4

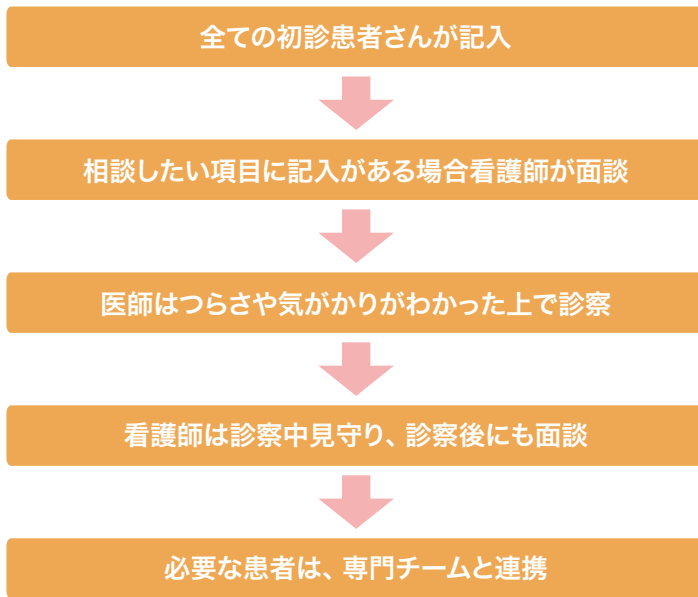
からだや気持ちのつらさについてお聞きします

2) 相談したい項目があれば () に○をご記入ください。専門チームが相談にのります。

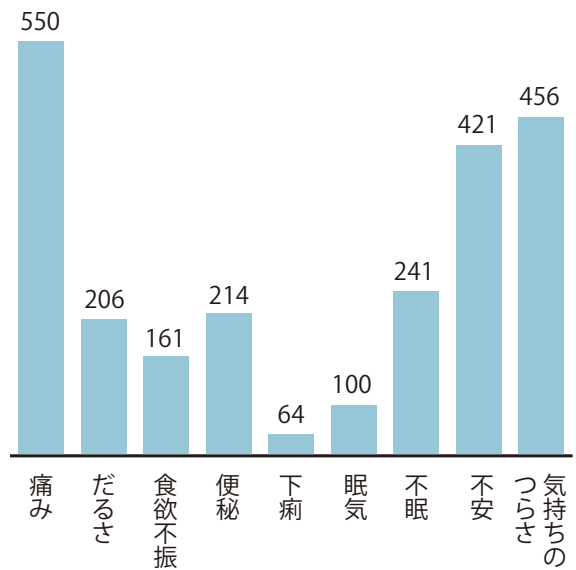
①痛み、眠れない、気持ちのつらさが続くなど	()	→ 緩和ケア内科
②医療費や経済的な問題	()	→ 医療福祉相談員
③お仕事の相談	()	→ 相談支援センター
④がんや治療の一般的な情報	()	→ 相談支援センター
⑤治療を決められない時、不安や日常生活の相談など	()	→ 看護外来

相談したいことについてお聞きします

●スクリーニングの流れ



●2018年度のつらさの内容



2018年度初診患者6063名うちスコア3・4は約3割(1645名)

■スクリーニングの効果

約30%の方が、つらさへの対応を必要としますが、1か月後にはほぼ全員のつらさが軽減されています。紹介された時点で、がんではないかと不安を感じていた患者さんも、診察前に看護師がつらさに寄り添い共感することで「不安が和らぎました」「話を聞いてもらえて安心できました」との意見も多くいただいています。

このように初診患者全員にスクリーニングを行っている病院は、全国でも未だ多くありません。

- がん相談支援センターは、初診時から治療中いつでも相談の窓口になります。
- 専門チーム(緩和ケア内科、サポートケア看護外来、MSWなど)は、初診時だけでなく治療経過を通して患者さんのつらさに継続して対応しています。
(2018年度、緩和ケア内科は、84名の患者に、サポートケア外来は177名の患者に対応しました。)
- 外来だけでなく、入院中は緩和ケアチームがサポートします。

外来看護師の面談



病棟でのカンファレンス





副院長（医療連携・医療情報担当）
兼ゲノム医療・臨床試験センター長
黒内 美弥子

長い間、呼吸器内科で地域の先生方と連携しつつ主に肺がん患者さんの治療に携わらせていただき、また新規治療の開発のための臨床試験・治験に力を入れてまいりましたが、この度副院長 兼 ゲノム医療・臨床試験センター長を拝命いたしました。近年分子標的治療の発展による個別化医療の進歩、免疫治療の導入により、がん治療も大きく進展し、治療法

が様変わりしてきており、また遺伝子パネル検査が保険診療に本格的に導入されるゲノム医療元年ともいべき時期になっております。当院の役割である個々の患者さんに合わせた最新、最適な医療のがん治療の実践を行うとともに、不安のない生活を送れるサポート体制を整えるべく、患者さんや地域の先生方の意見を入れて柔軟に当院の体制の見直しや整備も行い、地域連携体制も強化していきたいと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。

MESSAGE

新任副院長挨拶



副院長兼看護部長
江角 美紀恵

これまで、4つの総合型の県立病院と粒子線医療センターでの勤務経験を経て、このdegがんセンターに着任いたしました。

がんセンターの看護部理念は「私たちは専門職としての誇りと責任を持ち、がんとともに生きる人を支える最良のがん看護の提供と発展に努めます」と新たになり、今まで以上に専門的に看護の力を高められるように

課題に取り組んでいます。また、明石地域は看護の連絡会もあり、他施設との情報交換や研修会を通して学びの機会も多いです。このような環境の中で、院内から院外へ“つないで学ぶ”職種間の連携を強化しチーム医療を推進し「人々の暮らしを支える看護」をめざします。

また、看護職がやりがい感を持って働き続けられるよう「働きやすい改革」にも力を入れたいと考えています。これまでの経験を活かし、与えられた職責を果たせるように努めてまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

NEW FACE 😊

新任医師の紹介 その1

①卒業大学（卒業年） ②所属科 ③当院役職 ④前勤務先 ⑤趣味 ⑥ひとこと



武川 直樹
(たけがわ なおき)

- ①福井大学(平成20年)
- ②消化器内科
- ③医長
- ④近畿大学医学部附属病院
- ⑥微力ではありますが、神戸のがん治療に貢献していきたいと思っています。よろしくお祈りします。



福田 優子 (旧姓：石川)
(ふくだ ゆうこ)

- ①神戸大学(平成15年)
- ②循環器内科
- ③医長
- ④西記念ポートアイランドリハビリテーション病院
- ⑥今までの経験を生かしつつ、新しい知識を獲得しながらがんばります。



河村 美由紀
(かわむら みゆぎ)

- ①鳥取大学(平成27年)
- ②腫瘍内科
- ③専攻医
- ④京都市立病院
- ⑥未熟者ですが精一杯頑張ります。どうぞよろしくお祈り致します。



西久保 愛実
(にしくぼ めぐみ)

- ①神戸大学(平成28年)
- ②呼吸器外科
- ③専攻医
- ④大阪府済生会中津病院
- ⑤ランニング
- ⑥皆様のお役に少しでも立てるよう頑張ります。よろしくお祈りいたします。



藤林 祐介
(ふじばやし ゆうすけ)

- ①(平成29年)
- ②呼吸器外科
- ③専攻医
- ⑥患者さんのお役に立てるよう日々精進して参りますので、宜しくお祈り致します。



古谷 晃伸
(ふるたに あきのぶ)

- ①京都府立医科大学(平成15年)
- ②消化器外科
- ③フェロー
- ④黎明会北出病院
- ⑤マラソン
- ⑥大腸の腹腔鏡手術を得意としています。がんセンターでさらに精度を高めていきますのでよろしくお祈りします。



井上 翔太郎
(いのうえ しょうたろう)

- ①金沢大学(平成29年)
- ②乳腺外科
- ③専攻医
- ⑤ダイビング、ジム、軽い運動
- ⑥至らぬ点ばかりで日々、周囲の方にご迷惑をおかけし申し訳ありません。精進していきたいと思ひます。



中松 裕太
(なかまつ ゆうた)

- ①神戸大学(平成28年)
- ②整形外科
- ③専攻医
- ④神戸大学医学部附属病院
- ⑤野球観戦、草野球
- ⑥未熟者ですが患者様に最善の医療を提供できるよう日々精進します。



吉本 奈央
(よしもと なお)

- ①香川大学(平成27年)
- ②形成外科
- ③専攻医
- ④北播磨総合医療センター
- ⑥日々精進致します、よろしくお祈りします。



上田 佳奈
(うえだ かな)

- ①(平成29年)
- ②皮膚科
- ③専攻医
- ⑥日々研鑽を積んでいきたいと思ひます。よろしくお祈りします。



安藤 慎
(あんどう まこと)

- ①神戸大学(平成16年)
- ②泌尿器科
- ③医長
- ④神鋼記念病院
- ⑥患者様に少しでもお役に立てるよう努めてまいります。よろしくお祈りします。



前田 光毅
(まえだ こうぎ)

- ①神戸大学(平成26年)
- ②泌尿器科
- ③フェロー
- ④姫路赤十字病院
- ⑤バイク
- ⑥患者様に寄り添う医療が提供できるように努力してまいります。

NEW FACE 😊

新任医師の紹介 その2

①卒業大学（卒業年） ②所属科 ③当院役職 ④前勤務先 ⑤趣味 ⑥ひとこと



三田 淑恵
(みた よしえ)

- ①福井大学(平成28年)
- ②泌尿器科
- ③専攻医
- ④神戸大学医学部附属病院
- ⑥何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしく
お願い致します。



中澤 浩志
(なかざわ ひろし)

- ①徳島大学(平成22年)
- ②婦人科
- ③フェロー
- ④姫路赤十字病院
- ⑤刑事ドラマ
- ⑥真面目に頑張ります。



成田 萌
(なりた もゆ)

- ①香川大学(平成24年)
- ②婦人科
- ③フェロー
- ④愛仁会千船病院
- ⑤ダイビング、ランニング
- ⑥まだまだ未熟ですが、よろしくお
願いします!



山本 幸代
(やまもと こよ)

- ①徳島大学(平成27年)
- ②婦人科
- ③専攻医
- ④県立西宮病院
- ⑥精一杯頑張りますので、よろしく
お願い致します。



松代 恵利香
(まつしろ えりか)

- ①宮崎大学(平成26年)
- ②放射線診断科
- ③職員
- ④天理よろづ相談所病院
- ⑥少しでもお役に立てよう精進い
たします。よろしくお願ひします。



田中 千賀
(たなか ちか)

- ①(平成28年)
- ②放射線診断科
- ③専攻医
- ⑥未熟ですが精一杯努力いたしま
すのでよろしくお願ひします。



丸大 満
(まるだい みつる)

- ①信州大学(平成27年)
- ②放射線治療科
- ③専攻医
- ④国立病院機構姫路医療センター
- ⑥radiation oncologistの一員と
して頑張ります。



井上 由子
(いのうえ ゆうこ)

- ①滋賀医科大学(平成22年)
- ②放射線治療科
- ③医長
- ④神戸大学医学部附属病院
- ⑥ご迷惑をおかけするかもしれませ
んがよろしくお願ひ致します。



伊藤 史織
(いとう しおり)

- ①三重大学(平成27年)
- ②麻酔科
- ③専攻医
- ④県立尼崎総合医療センター
- ⑤テニス
- ⑥勉強中ではありますが、精一杯頑
張ります。



青戸 一恵
(あおと いちえ)

- ①島根大学(平成29年)
- ②麻酔科
- ③専攻医
- ⑥精一杯頑張っていこうと思ひま
す。よろしくお願ひ致します。



植野 さやか
(うえの さやか)

- ①京都大学(平成16年)
- ②研究部
- ③医長
- ⑥家族性腫瘍・ゲノム医療などで貢
献できるよう、努めて参ります。



シンボルキャラクター

ともたん

がん診断された患者さ
んに、寄り添い、支え、
"ともに生きる"妖精です。

誕生日:2007年4月
性別:なし
好きな食べ物:明石焼き



超音波検査室に新しく超音波診断装置 Aplio i800が導入されました

- ①新しい装置の導入により、超高精細かつ微細な血流の検出が可能となりました！

超高周波数プローブ(24MHz)や低流速血流表示技術であるSMI(Superb Micro-vascular Imaging)により、高精細で微細な血流が描出され、腫瘍の局在部位や病変の拡がりなどの評価が容易となりました。また、Smart Fusion/Smart Navigation機能が搭載され、CTやMRI画像との合成表示が可能となり、病変・腫瘍の位置を特定することが容易で、穿刺術を施行する際には正確な位置決めが行えます。

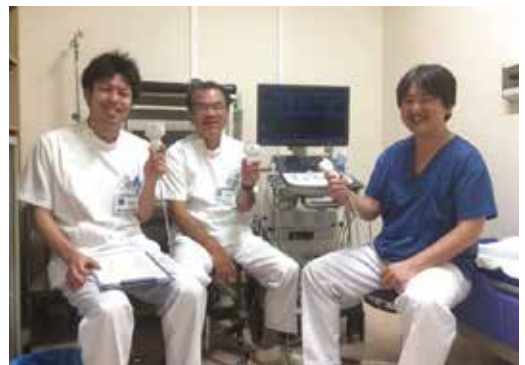
- ②検査領域は幅広く様々な診療科の疾患に対応します！

超音波検査センターでは、消化器領域、表在領域の超音波検査を行っています。

消化器領域は肝臓や膵臓など上腹部の臓器やリンパ節の評価が中心で、表在領域では甲状腺や乳腺だけでなく、皮膚や皮下腫瘍など様々な検査を施行しています。造影超音波検査では、肝臓がんや乳がんの検査が行えます。超音波検査は、簡便に皮下組織の観察が行えるため、昨年からは新たにリンパ浮腫の治療効果判定に貢献しています。

- ③超音波医学会認定の超音波検査士の資格を有する診療放射線技師を中心に、医師、臨床検査技師と多職種で検査を行っています！

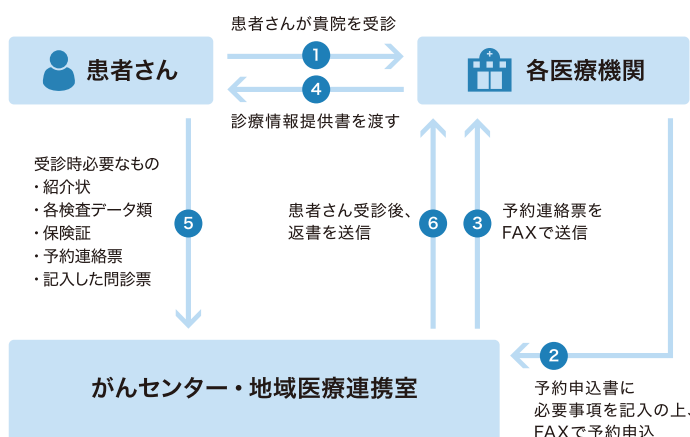
(日本超音波医学会 超音波検査士：消化器2人、表在2人、循環器1人)



地域医療連携室からのご案内

患者さんのご紹介について

がん患者さんのご紹介だけでなく、「がん検診」や「人間ドック」等で、要精査の方の精密検査も積極的に受け入れています。がん専門の医療機関として、必要な検査の後、がんと診断されれば、直ちに最良の治療を行います。地域医療連携室では当センターへの患者紹介をいつでも、円滑に、簡単にさせていただけるように努力しています。



お申込み先

兵庫県立がんセンター 地域医療連携室
直通 FAX : 078-926-5410

予約受付時間：月～金曜日
午前8時30分～午後7時
FAXは24時間受付対応。ただし、午後7時以降は翌日の取り扱いとなります。
外来診療予約、セカンドオピニオン予約、高額医療機器利用予約、がんゲノム医療外来予約の申込書の書式は、当センターホームページ
URL : <https://hyogo-cc.jp>よりダウンロードできます

「前方連携におけるお問い合わせ専用直通電話」をご利用ください

専用直通電話番号：078-929-1155 (地域医療連携室)

専用直通電話受付時間：月～金、平日午前8時30分～午後5時

※月～金、平日午後5時～7時までは従来通り、代表電話番号078-929-1151でお電話をお受けしています。

連携診療登録医のご登録について



当センターでは、地域の医療機関と密接に協力して最新の知見に基づいた最良の医療を適時・適切に提供し、地域全体の医療機関同士が手を取り合って患者さんを支えるがん医療体制を「連携診療システム」と呼び、その充実に努めています。

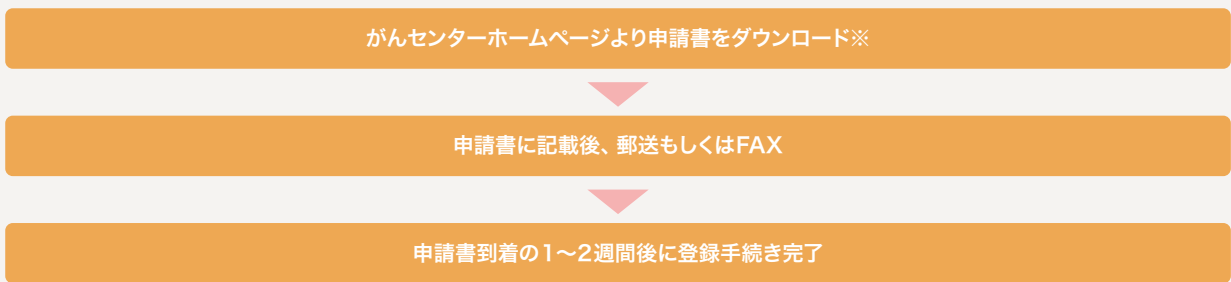
当センターではがん連携診療推進のために必要な医師体制や受入可能病態、診療機能などの情報の相互提供、共同指導や連携診療に関する取り決め、患者情報共有（個人情報保護）のための取り決めなどを定めた「連携診療登録医制度」を設置しています。ご登録していただくと「登録医療機関証」を発行いたします。

「地域連携パス」の登録医療機関としてご登録いただく際に「連携診療登録医」への登録もお願いしております。なお、ご登録いただかなくても患者さんの治療や検査のご紹介、当センターでの治療後の連携等についてはこれまでと変わりありませんが、前述のとおり各種情報の共有と保護を確保しながら、より緊密な連携診療を進めるためにご登録いただきますようお願い申し上げます。



ご登録いただきました医療機関様には左記の登録医療機関証をお渡ししています。

登録に関する流れは以下をご参照ください。



※申請書はがんセンターホームページトップページ→医療機関の方へ→連携診療登録医制度についてのページに掲載しております



登録の申請は
 兵庫県立がんセンター地域
 医療連携室
 〒673-8558 兵庫県明石市
 北王子町 13-70
 FAX:078-926-5410
 (地域連携室直通)
 までおねがいします



都道府県がん診療連携拠点病院
兵庫県立がんセンター

〒673-8558 兵庫県明石市北王子町 13-70
 TEL : 078-929-1151 FAX : 078-929-2380

ホームページ <http://hyogo-cc.jp/> 兵庫県がん 検索

